



事業継続計画 取組み状況

電子機器の新たな価値を拓く



東京パーツ工業株式会社

2019年6月27日



会社概要

商号	東京パーツ工業株式会社
設立	1959年(昭和34年)12月19日
資本金	96,250千円
事業内容	電気機器部品の製造及び販売
品質環境への取組み	<p>ISO 9001 認証取得 ISO 14001 認証取得</p> <p>   </p> <p>取得内容 JIS Q9001:2015/ISO 9001:2015 JIS Q14001:2015/ISO 14001:2015</p> <p>登録機関 一般財団法人 日本品質保証機構</p> <p>登録番号 JQA-QMA15652 JQA-EM6887 東京パーツ工業株式会社 本社工場</p>
営業品目	<p>自動車用赤外線及び電波リモコン 車載用アクチュエータ セキュリティ関連商品及び部品 通信関連機器・部品 電子制御回路 動物用血液検査機 AV・OA・通信機器用各種コイル及びフィルタ スイッチング電源トランス・DC-DCコンバータ 各種超精密小型直流モータ 冷凍・空調機器電装部品</p> 

海外拠点

中国、インドネシア、カンボジアに8拠点



会社概要

経営理念

社会に貢献

会社資本・設備の充実

社員の生活の向上



【品質・環境方針】

当社は、企業理念に従い、すべての事業活動において、『顧客満足』・『環境保護』のために継続的な改善を行います。

1. 顧客からの品質(Q)、コスト(C)、納期(D)、環境(E)の各要求を満たすことを最優先と理解し、製品を通じて顧客満足度の向上を目指します。
2. 本方針に基づき、達成すべき目標を具体的に定め、対象者全員で計画的に活動を推進します。
3. 顧客満足・環境保護に対し、常に細心の注意を払いリスク管理に努め、該当する法規制等に対して順守義務を果たします。
4. 下記の事項を重点として、汚染予防及び環境保護に取り組めます。
 - ①省エネルギー、省資源活動の推進
 - ②産業廃棄物の削減とリサイクルの推進
 - ③環境配慮設計による付加価値製品の製造
5. 本方針は、対象者全員へ周知すると共に、一般公開し、その実行と維持に努めます。

海外拠点

Tokyo Parts Industrial(CAMBODIA)CO., LTD. (生産品目:コイルトランス)

Tokyo Parts Industrial(CAMBODIA)CO., LTD.
(Product: Coil Transformer)



SANWA PARTS(SINGAPORE)PTE, LTD. (海外営業所)

SANWA PARTS (SINGAPORE) PTE, LTD.
(Overseas sales office)



PT.SANWA PARTS(INDONESIA) (生産品目:コイルトランス)

PT.SANWA PARTS(INDONESIA)
(Product: Coil Transformer)



東莞三甲電子有限公司 (生産品目:小型モータ)

DONGGUAN SANKO ELECTRONIC CO., LTD.
(Product: Small motor)



汕頭東京電子有限公司 (生産品目:車載アクチュエータ)

SHANTOU TOKYO ELECTRO DEVICE CO., LTD.
(Product: On-board actuator)



汕頭東京電器有限公司 (生産品目:車載キースイッチ)

SHANTOU TOKYO ELECTRIC APPLIANCE CO., LTD.
(Product: On-board key switch)



汕頭経済特区東京元件有限公司 (生産品目:コイルトランス)

SHANTOU BEZ TOKYO PARTS CO., LTD.
(Product: Coil Transformer)

海衛工貿中心
WAH WAI CENTRE



東京元件貿易有限公司 (海外営業所)

TOKYO PARTS TRADING CO., LTD.
(Overseas sales office)





会社概要

東京パーツ工業 組織体系

代表取締役社長

オートモティブ
コンポーネント
事業部
Automotive Components Division



モーション
コンポーネント
事業部
Motion Components Division



コイル・トランス
コンポーネント
事業部
Coil-Trans Components Division



管理本部



なぜ、始めたのか？

BCPの概要

BCP = **B**usiness **C**ontinuity **P**lan

事業継続計画

企業が自然災害やテロなどの緊急事態に遭遇した場合においても、事業を継続し会社を存続させるための計画

* 事業資産の損害を最小限にとどめて、

- ・中核となる事業・重要業務を中断させない
- ・中断した場合はできるだけ早急に復旧させるための方法・手段などを平常時に取り決めておく

BCPが必要とされる背景

1. 企業経営に影響を与える災害や事故の多発

- ・ 自然災害(地震、風水害、ウィルス)
- ・ 戦争、テロ、大規模事故
- ・ 情報ネットワークの複雑化

2. 社会的な要求強化 (サプライチェーンからの要求)

- ・ 調達先の絞込み
- ・ コンプライアンス、CSRの高まり

3. 国内外での標準化傾向

- ・ 英国BS25999, 米国NFPA1600
- ・ 経済産業省、内閣府規格設定
- ・ 中小企業庁 ガイドライン策定
- ・ ISO22301 発行済み

4. 自社の企業体質の確認及び強化

- ・ 自社を取り巻くリスクの認識
- ・ 社員の意識改革・育成
- ・ 経営体質の改善

1. 近年、想定外の自然災害が多発
2. 顧客要求が増加('18年は'16年の3.6倍)



なぜ、始めたのか？

●BCPを構築するには……

- 1) 自社独自で構築する
- 2) 支援(コンサル)を受けて構築する
- 3) ISO22301を認証取得する

などがあるが、どれも敷居が高いなあ～

●そんな時……

「群馬県BCP策定支援プロジェクト」を知る！
これだ！ お願いしてみようか？

●まずは、セミナーへ行ってみよう！

日時 6月20日(水) 14:00～

理屈は分かったけど「具体的に何をしたら良いのか??

●では、ワークショップも行ってみよう！

日時 6月26日(火) 10:00～

東京海上日動 大木様の支援の下、
策定することにしよう



何をしたのか？

●2018年8月29日～11月14日(約3ヶ月)で
6回の会合を実施(2時間/回)

目次	様式類	頁	実施日
1.基本方針	BCPの基本方針	1	8月29日
2.BCPの運用体制	BCPの策定・運用体制	2	
	災害対策本部の設置	3	
3.中核事業	中核事業に係る情報	4	9月26日
	中核事業に係る情報②③	5～6	
4.事業 替の情	情報連絡の拠点となる場所	7	11月14日
		8	
		9～10	
		11	
		11	
		12	
		13	
5.通信		14	
		15	
		16	
6.中核事業に係るボトルネック資源	設備 コンピ その		11月14日
7.事前対策の為の投資計画	投資		
8.避難計画	避難		
9.連絡先／連絡方法(防災)	主要 安否 従業 従業 従業員携帯カード	26	
10.災害対应用具	災害対应用具チェックリスト	27	
11.保険	保険情報リスト	28	11月14日
12.連絡先(事業継続)	主要顧客情報	29	8月29日
	主要供給者/業者情報	30	
13.地域貢献	地域貢献活動	31	
14.初動対応	初動対応リスト	32	11月14日
15.事前対応	BCP事前対策対応リスト	33	



何をしたのか？

BCPの運用体制

災害対策本部の設置

災害対策本部設置場所
(万一使用できない場合はP8の代替場所へ)

本館2F 食堂 (第一候補)
精器事業部(第二候補)

電源、通信インフラがあるか？
ガラス飛散等がない安全な場所

◎本部長 (社長)
〈副本部長: ●事業部長〉

◎事務局責任者 (事務部長)
〈代行者: ▲事業部長
■事業部長〉

営業部門

担当リーダー: 事業部長
代行者: 営業チームリーダー
メンバー: 営業部担当

顧客

対応、確認、見舞
談対応
の支援、提供
させ

ポイント

- ・権限者参画

- ・役割分担

災害

財務
グループ
従業員
支援

経営資源

担当リーダー: 管理本部長
代行者: 総務チームリーダー
メンバー: 人事チームリーダー
経理チームリーダー

- ・社員の安否確認(確認方法はP23)
- ・宿泊施設の確保(復旧対応用)
- ・緊急必要物資(食料等)の手配
- ・救護活動、情報収集、マスコミ対策、各グループにまたがる事項の整理、総務事項全般
- ・財務手当て(銀行との交渉など)



何をしたのか？

●リスクの見える化はできたけど……

- 1) 防災対応グッズの準備
- 2) 生産設備への対策
- 3) 建物の耐震化(診断だけで1千万)

などがあるが、直ぐに出来るものと出来ないものがあるなあ～
 下図のように考えると良いようだ！！

リスクとリスクマネジメント



事業計画と整合させ「技術上の選択肢、財務・運用・事業上の要求事項を考慮する」
 ⇒簡単に言うと「実現性」と「優先順位」？



何をしたのか？

●このように考えると

No.	リスク対応	対応	判定
1)	防災対応 グッズの準備 ・たためるヘルメット ・フリーズドライ ビスケット		即準備
2)	生産設備へ の対策		適宜
3)	倉庫の 耐震化		保留
4)	投資計画 リスクファイ ナンス	<p>例えば、火災事故の場合…</p> <p>火災現場は煙やススを被り… → 消火後も廃食は進行。大変な事に…</p> <p>こうならないために「早期復旧」が大事!!</p> <p>ベルフォア社による「安定化処置」! → 機材設備は無事。</p> <p>・地震保険等の補償見直し ・災害時の資金調達方法の検討</p>	見直し検討



何が出来たか？

事業継続計画書 (BCP)

平成30年11月29日 作成(初版)

平成 年 月 日 改定(第 版)

★社員1名が日本防災士機構認定の
「防災士」資格を取得



何が出来たか？

BCP策定に際しては分かったこと(残る課題)12件

目次	様式類	頁	残る課題等
1.基本方針	BCPの基本方針	1	-
2.BCPの運用体制	BCPの策定・運用体制	2	-
	災害対策本部の設置	3	-
3.中核事業	中核事業に係る情報	4	-
	中核事業に係る情報②③	5~6	-
4.事業継続に係る各種資源の代替の情報	情報連絡の拠点となる場所	7	食堂(災害対策本部)に設置されている電話機の外線化工事予定 会社代表のアドレスを確認
	事業復旧を実施するための場所	8	-
	応援要員	9~10	どのように人選するか？ お声掛け(依頼)する方法など⇒県外のグループ会社等を検討
	資金調達	11	-
	通信手段・各種インフラ	11	小型発電機、小型ポンプの稟議起案まで完了
	ハードウェア対策など	12	-
	中核事業に必要な供給品目情報	13	車載電装事業部で要継続検討(空欄を可能な限り記入しておく ~12月末)
中核事業に必要な情報に関する情報	14	要継続検討(プロネスデータのバックアップ(DAT)、紙媒体は破損等の無いよう工夫が必要)	
5.通信手段	通信手段の情報	15	-
	電話/FAX番号シート(自社用)	16	要継続検討(モータ3台、車載3台など詳細リストを各事業部より提出頂く)
6.中核事業に係るボトルネック資源	設備/機械・車両など	17	-
	コンピューター機器とソフトウェア	18	-
	その他の器具類	19	ホワイトボードは、情報を共有化する必須のツールとなる(模造紙もあると良い)
7.事前対策の為の投資計画	投資計画シート	20	-
8.避難計画	避難計画シート	21	最寄りの避難所を確認する際に参考となるアプリがある。 (本来の避難場所が被災してしまった場合や、出張先などで不案内な地域にいる場合に有用である) 防災情報「全国避難所ガイド」(http://www.hinanjyo.jp/)
9. ⇒経営計画と整合させ 主要組織の連絡先 安否確認方針		22	-
10. 			皆へもBCPの構築をお願いする
11. 優先順位をつけ取組む			
14.初動対応	初動対応リスト	32	-
15.事前対応	BCP事前対策対応リスト	33	-



まとめ

BCPで決めた各種対応策の実施状況等を踏まえ、定期的な見直しを行う必要がある。

また、それ以外に見直しを行うべき場合も、あらかじめ決めた。

点検・是正措置・見直しの基準

事業継続計画書(BCP)を毎年 **1回見直し**を行う
(但し、下記に該当する場合は、その都度見直す)

見直し 該当事項	組織・業務形態の大幅な変更、経営者が必要と判断した場合
-------------	-----------------------------

★BCP策定及び定着の重要ポイント

①	BCP発動を判断する人物が明確に決められている
②	BCP発動を判断すべき人物が不在などで判断できない場合、代理の判断者が決められている。
③	BCP発動を判断する人物(もしくはその代理者)を平時より全ての従業員に周知させている。
④	BCPで特定された様々な災害を想定した従業員による訓練を定期的 to 実施している。
⑤	BCPや防災に関する情報が社内に周知されている。



謝 辞

この度は、「群馬県のBCP(事業継続計画)策定支援」を活用させて頂き大変有難う御座いました。

終始熱心なご指導を頂いた「東京海上日動火災保険株式会社 大木様を始め多くの方々に感謝の意を表します。

また、セミナー及び模擬訓練等では、「東京海上日動リスクコンサルティング株式会社主席研究員坂本様にはひとかたならぬお世話になりました。ありがとうございました。

今後のスキルアップに向けた活動に際しても、ご指導、ご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



ご清聴
ありがとうございました

